

メインスタンド

増設された屋根



構造補強（コンコース側から）



構造補強（外側から）



アクセス

- 千葉駅からモノレールでスポーツセンター駅まで5駅10分ほどで到着し、駅からは徒歩3分と通常のアクセスには申し分ない環境です。（モノレール自体がこのスポーツセンター内を通過しています）。ただしモノレールは2両編成で輸送能力に限界があると思われ、これもこのスポーツセンターで開会式という選択肢がなくなった理由の一つかもしれません。
- 千葉県は、「複線のモノレールがあり、市街地からもかなり近い陸上競技場があったのにもかかわらず、大規模な改修を避け、前例がなかった野球場での開会式を選択した」わけです。
- 一方、愛媛県の選択は「軌道交通機関がまったくない山奥の陸上競技場に巨額を投じての改修」となってしまうのでしょうか。

施設の概要

- この陸上競技場は築40年を経ているため、国体に先だって耐震補強工事などを行っていますが、工法の工夫により、15億円ほどの費用しかかかっておらず、この工法は建築技術協会の賞を獲得しています。
http://www.zenken.com/hyusyou/zenkensyou/h16/zk_16_05_kentiku01.pdf
- 建築構造物はメインスタンドのみで、ここに構造補強がなされています。（コンクリートの柱の間に筋交のような鉄骨が追加されています。）この上に、メインスタンドの屋根を載せている形ですが、もとの柱のデザインに連続させ、一見、増築したとは思えない素晴らしい出来栄です。コンコース内からみても改修された感じはあまりなく、壁面も新たに吹きつけられたようで、40年を経た構造物には見えませんでした。建築技術協会の賞を受けたのもうなずけます。
- メインスタンドの座席の規模はほぼニスタと同じ程度ですが、個席になっている座席は少ないようでした。
- 増築された模様のガラスばりの部屋部分は最小限の大きさとどめられているようで入りきらない報道関係者などは1枚目の写真の左手にあるように仮設テントのなかにミキサー等の機材を持ち込んで対応していました。
- この工事は平成15年10月～平成16年11月にかけて行われ、翌年には高校総体が開催されるなど有効活用されているようです。ニスタのメインスタンドはかなり老朽化が進んでいますので部分工事のための予算が獲得できるとしたら同様に、「国体の陸上競技に必要な範囲について」、改修工事に早期に取り掛かることには意味があり、当面、Jリーグのお客さんの満足度を少しでもアップしてくれるのではと思います。

メインスタンド

メイン入口



雨水の排水口



改装されたトイレ・身障者用トイレ



メイン入口

- 階段を上がったコンコースレベルにメイン入口があり、ここもきれいに吹き付け直し、施設名の文字もリニューアルされていました。その上の国体の看板は簡単に仮設されていました。床面のひび割れが40年の経過を物語っています。
- 入場ゲートも、手荷物検査もなく、そのまま入場できました。国体の会場は一般的にそうなのでしょうか。それとも千葉が経費削減のためにフリーにしたのでしょうか。確認しておきたい点です。

雨水の排水

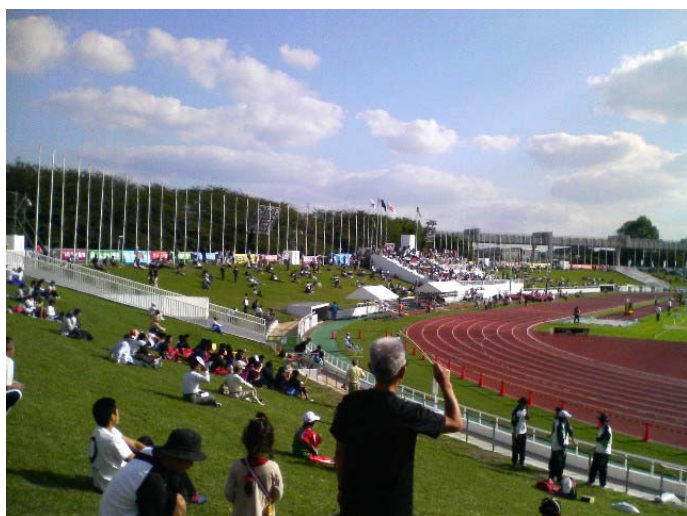
- コンコース上の雨水の排水は樋がなく、壁伝いに流す構造のまま改修されていませんでした。このあたりにも費用を抑えた跡がうかがえます。人が通る可能性のある通路の真上でも樋の無いところが数多くありました。

トイレ

- トイレはバリアフリー対応も含め、綺麗に改装されていましたが、扉の構造やブースの数からみて、この施設で大混雑するほど入場する想定はないようでした。特にハーフタイムに利用が集中するJリーグの会場ではトイレにはもっとお金をかける必要があるでしょう。

サイドスタンド・バックスタンド

サイドスタンドからバックスタンドを望む



バックスタンドを中央の仮設スタンド



仮設スタンドの仕組み



サイドスタンド

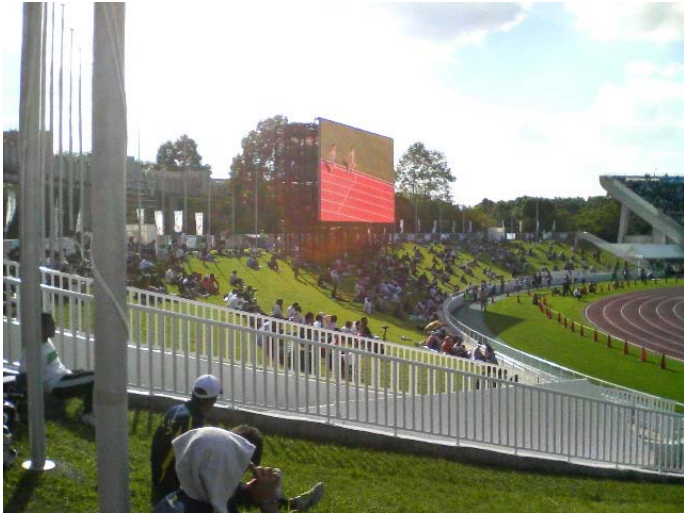
- サイドスタンド、バックスタンドとも、手すりなどを交換し、塗装し直した以外、構造物はほとんど改修されていないようでした。芝生は綺麗に生えそろっていました。

バックスタンド

- バックスタンド中央には仮設の座席(ベンチシート)がありましたが、他には座席は全くありませんでした。
- この仮設座席は、工事現場の足場のような構造にベニヤ板をはっただけの相当に簡易なものでした。
- バックスタンド上端に並んでいるフラッグの掲揚ポールは都道府県の数に合わせたか増設されていました。(元の約2倍の本数)。
- この日は土曜日で主要な種目もたくさん組まれていたようでしたが、快晴・微風と絶好の観戦日和のお昼過ぎにメインスタンドは7割程度の埋まり具合で、サイドスタンド、バックスタンドは写真のようにまばらな人の入りでした。首都圏の千葉、しかも交通の便に優れた立地でもこの程度の入りです。陸上競技だけのためにスタンドを新設するとすれば、将来にわたって有効な投資と言えるどうか疑問を感じました。国体の陸上競技は現在のニスタのスタンドでも十分まかなえるのではないのでしょうか。また国体以上の規模の競技会がニスタで行われることが将来あるのでしょうか。
- もし、愛媛FCのホームスタジアムが他にできるとしたら、ニスタへの投資は最小限に抑えるべきでは、という意見にはご賛同される方が多いものと思います。

大型カラービジョン等

大型カラービジョン(仮設)



仮設の様子 (足場だけ新設?)



入退出路



大型フルカラービジョン

- 高輝度LEDの大型フルカラービジョンは完全に仮設でした。設置場所となっている部分は新たにコンクリートを打って造られたようでしたが、基本的にはその上にのせているだけ(あるいは軽くアンカーうちだけ)で、大会後はすぐに撤収されるものと思われます。
- フレームもLEDモジュールもむき出しですが、風雨には耐えるのでしょうか。背後からLEDビジョンでは一般的な三菱電機製であることも含めまる見えでした。いたずらで入りこんでケーブルを抜けるような構造のため、近くに警備員が立っていました。

おまけ — アスレティックビークル

- 砲丸投げのフィールドをラジコンカーが行ったり来たりしており、どうやら先頭にチーバくんが乗っているようでした。最初は距離計測をしているのかと思いましたが、実は、投げられた砲丸を投てき場所に戻すためのものでした。専用のアタッチメントで、円盤や砲丸、最大なんと7キロ超×2個を同時に軽快に搬送できるとのことでした。タイヤが芝に絡まず、滑らず等の工夫も含め非常によくできていました。写真はこれを製作している会社のブースで、企画室長さんが丁寧に説明してくださいました。この他にも、火薬を使わずにスタートの号砲を鳴らす拍子木のような製品などいろいろな工夫がみられました。



入退出路

- メインスタンドもそうでしたが、入場は無料のため、ゲートにあたるものはなく、手荷物検査もありませんでした。写真はサイドスタンドから場外に降りる仮設階段で、警備員もいませんでした。この仮設通路自体が非常に細く、並んで二人通れる程度です。もともと想定されている来場者数が低いことが伺えます。陸上競技だけを考えるのであれば、ゲートの整備も不要と思われました。

その他

仮設照明



本部入口



関係者受付など



仮設照明

- このスタジアムには照明塔がないため、クレーン状で自走してきたと思われる仮設照明車が4機(メインとバックに2台ずつ)配置されていました。昼間はアームが収納されていて低い状態で、3時頃アームが伸ばされ、水銀灯が点灯されました。(照明車の隣に大型の自家発電機が仮設されていました)。かつてニスタで日本代表戦が行われたときなどに「クレーンで照明を吊った」と聞いていましたが、(費用のほどは定かではありませんが)現在ではこういった専用の機材もあるようです。

本部入口から諸室

- ここが一番きれいに改装されていました。おそらく内部の各部屋もリニューアルされていることでしょう。今後、この競技場で行われる競技会ではこういった運営本部、更衣室・ロッカー、シャワー、トイレ、医務室、ドーピング室といった施設のほうがスタンドよりもよほど使用頻度が高いでしょうから、賢明な投資が行われていると思います。

各種受付

- 関係者受付などは上記本部の対面に設置されたテントで行われていました。この日は微風でしたが、開幕日、風が強かったからか、大きなウェイトが柱ごとに置かれていました。

その他の施設

案内ボード



第2陸上競技場



野球場



武道館



千葉県総合スポーツセンター

- このスポーツセンターは 1973 年若潮国体のメイン会場になっただけあって、第2陸上競技場、野球場、武道館、体育館、軟式・ソフトボール場、庭球場(16 面)、弓道場、サッカー・ラグビー場(1面ずつ)、相撲場などの施設が含まれていますが、今回の国体の会場になったのは陸上競技場だけでした。おそらく、この40年近くの間に、各市町村に様々な施設が造られてきたということなのでしょう。

<http://www.cue-net.or.jp/kouen/sportscenter/html/institutions.html>

第2陸上競技場

- 陸上競技場の隣に第2陸上競技場がありました。写真左側の直線走路には、開会式会場前でも使われていた大型テントが仮設されており、雨天時のウォームアップに使われているようでした。走路は基準通りの8レーン。今回のために増設されたのではなく、元々あったと思われます。愛媛県総合運動公園の補助競技場は6レーンしかなく、8レーン化することが求められていると聞きますが、しばらく練習の様子をみていましたが、7・8レーンを使って練習している選手はみかけられず、本当に必要なものか、費用対効果を考えると、そのお金を諸室の充実に回すなどの検討がなされてもいいのではと思いました。ただしこれは陸上競技について全くの素人の感想であり、実際に競技の質や記録のレベル向上などに必要なのであれば、改修もやむを得ないでしょう。
- 陸連の基準ではたしかメイン競技場と補助競技場の間に車路があるのは好ましくないのですが、ニスタの北側に補助競技場を作り直すとう案を聞いたことがありますが、この千葉でも両競技場の間には車路がありました。

野球場

- 内野スタンドしかありませんがとても立派な球場で、芝生も綺麗に生えそろっていました。公式野球は財政難の銚子を会場とすることについて物議を醸していたようでしたが、...

武道館

- 体育館はかなり古そうでしたが、武道館はまださほど築年を経っていないように思われました。周辺の道路、歩道なども綺麗に整備されていました。